

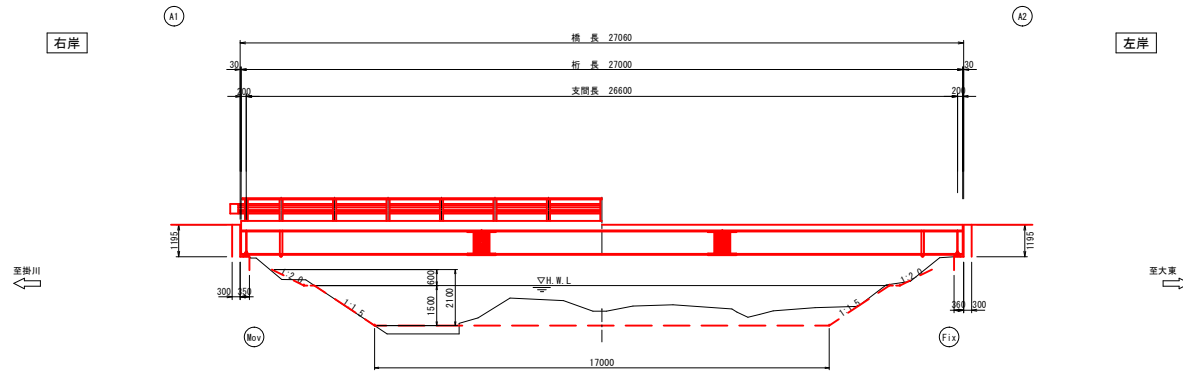
S=1:500 (S=1:1,000)



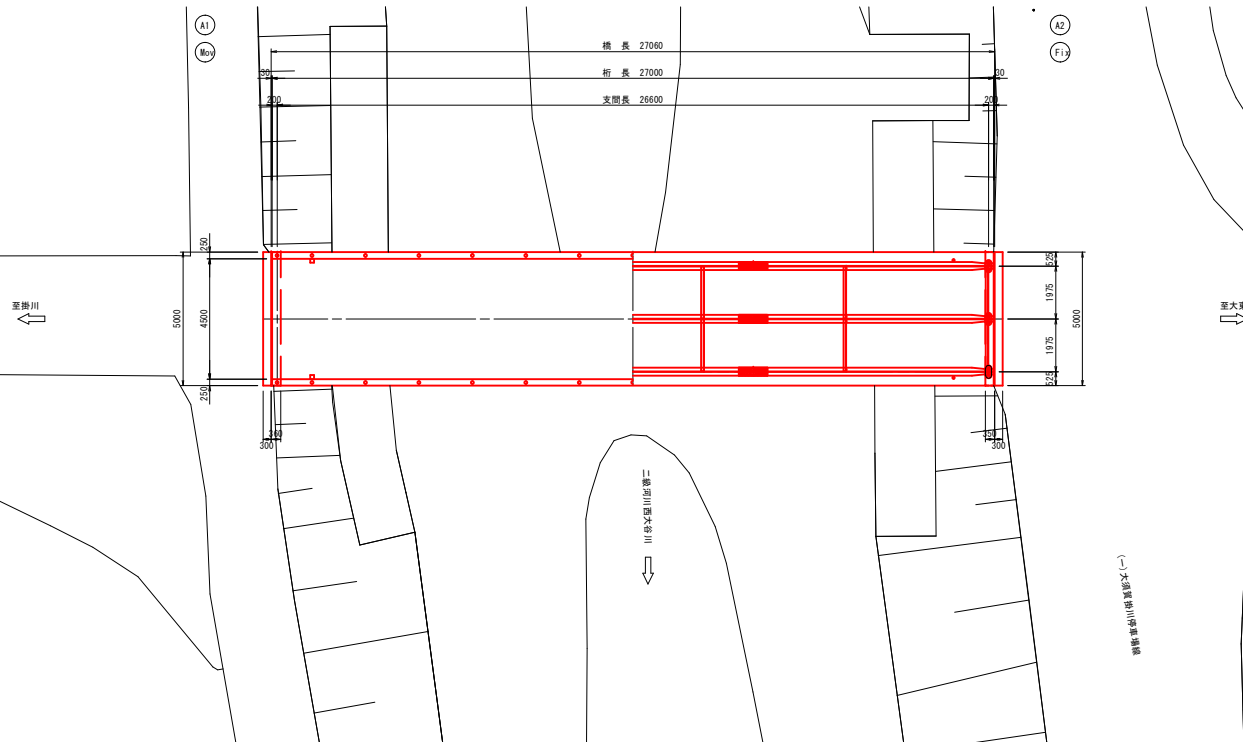
工 事 名		令和7年度 道路橋梁維持事業 大宮橋橋梁補修工事	
工 事 箇 所		掛川市 中 地内	
図面の種類		平面図	
縮 尺	S=1:500 ()内はA3版	図面番号	4 葉中 1
測量年月日:		設計年月日:	
事務所名		掛川市役所	

橋梁一般図

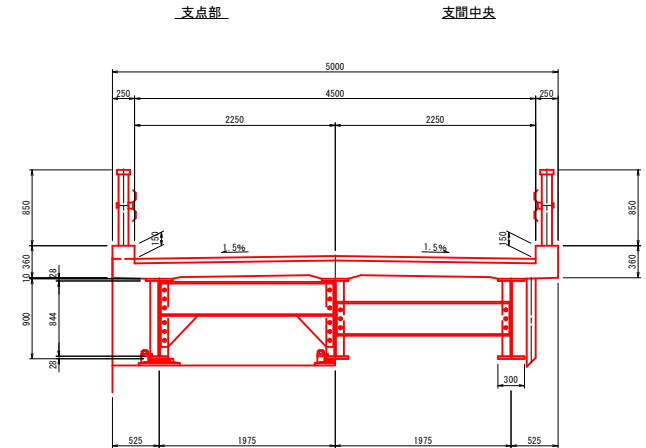
側面図 S=1:100 (1:200)



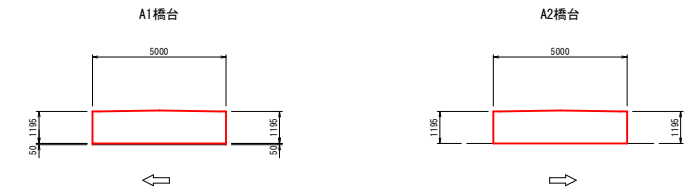
平面图 S=1:100 (1:200)



上部工断面图 S=1:30(1:60)

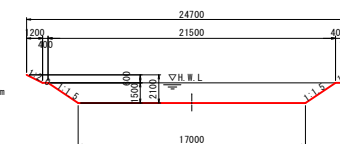


下部工正面図 S=1:100(1:200)



設計条件表	
路線名	(市)大々谷ヶ字・片倉線
設計年度	1965年(昭和43年) 供用56年
設計年度	不明
交通方式	不明
計画区間	不明
河川名	二級河川西大谷川
設計基準	TL-14
橋長	欄間柱間合計欄間橋
橋長	L=277.000m
桁間長	L=27.000m
間長	L=28.600m
桁高	H=8.900m
平面規格	R=∞ (有効幅員4.500m・地盤0.250m×2)
断面規格	不明
断面規格	1-1 55~
断面規格	90° 90°
舗装	コンクリート舗装
工種	架橋架設
主要材料	A1・可動, A2・固定
主要材料	鋼材・不明, コンクリート
基礎形式	不明
基礎形式	不明
使用材料	部材区分 コンクリート 鉄筋
	鋼 鉄 不明 不明
	鋼 鉄 不明 不明
適用基準	不明

河川改修計画
S=1:200(1:400)



※河川断面は第9次5ヶ年計画による。

注記

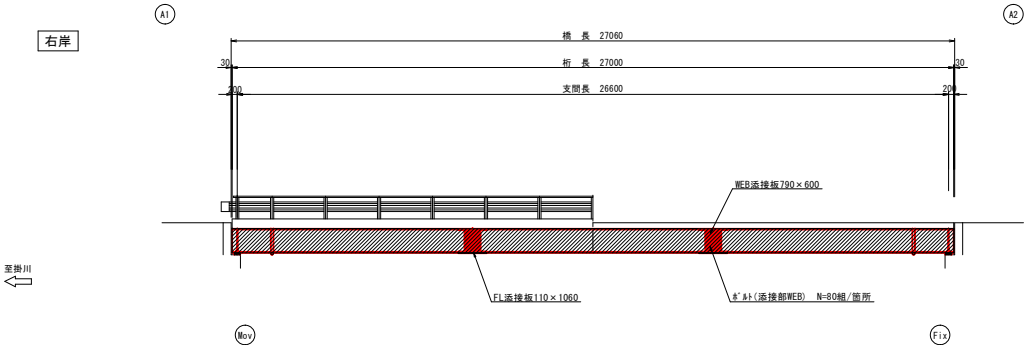
- 1) 本図は、橋梁台帳および現況調査結果を基に作成したものであるため、工事の際は必ず現地計測を実施すること。
- 2) 現況平面は、掛川市道路台帳によるものである。

【大要】	
工 事 名	令和7年度 道路橋梁維持 大倉橋梁架補修工事
工事箇所	掛川市 中地内
図面の種類	橋梁一般図
縮 尺 ()内はA3版	図面番号 4 葉中 2
測量年月日:	設計年月日:
事務所名	掛川市役所

塗替塗装構造図

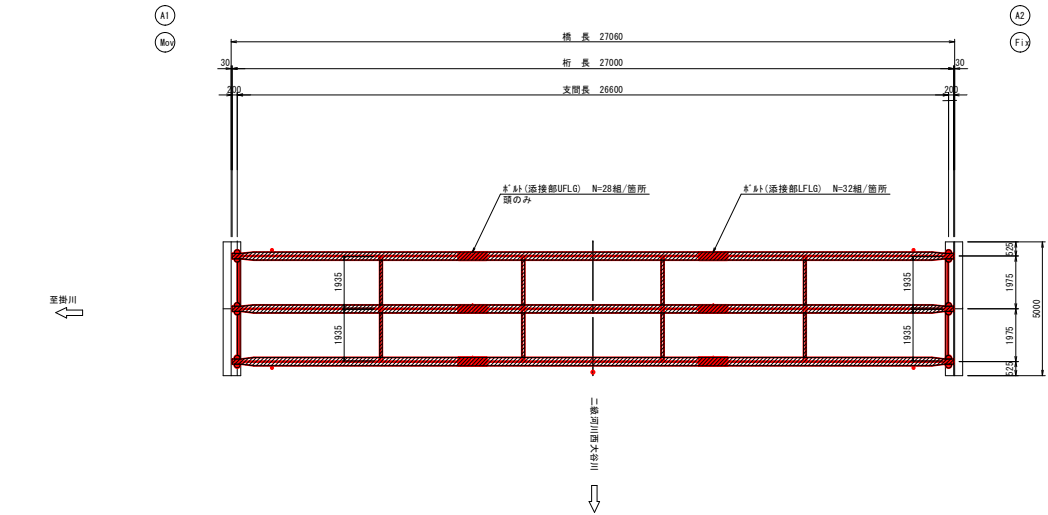
側面図

S=1:100 (1:200)



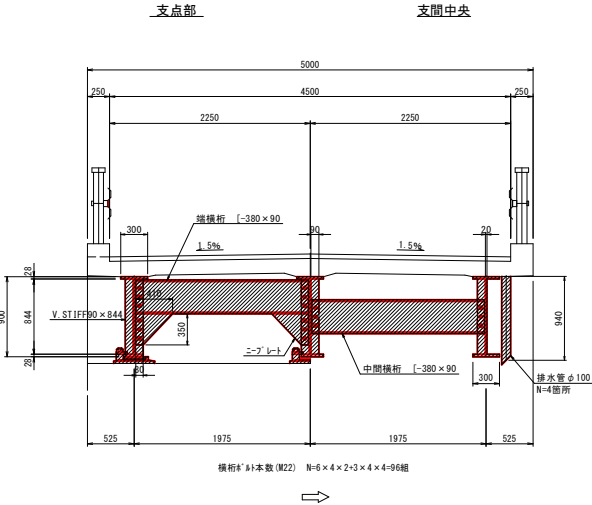
平面図

S=1:100 (1:200)



上部工断面図

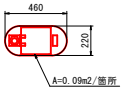
S=1:30 (1:60)



支 承

S=1:20 (1:40)

平面図



※支承は下巻面積をCAD求積し塗装面積とする。

支 承 N=6箇所

R' s t本数 (M22) の算出
R.T.B (W22, 添部) =96+(90+32+28)×6=936箇所
R.T.B (W22, 7+1添部) =96+(80+32)×6 =768箇所

塗替塗装仕様一覧表 (Rc-I 塗装系)

工 程	素地調整程度・塗料一般名称	使用量 (g/m ²)	標準膜厚 (μm)
素地調整	1種：磨理式ブラスト (さび、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる)	—	—
下 塗	有機ジンクリッチペイント	600	75
	弱溶剤型変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60
	弱溶剤型変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60
中 塗	弱溶剤型ふっ素樹脂塗料用中塗	170	30
上 塗	弱溶剤型ふっ素樹脂塗料上塗	140	25

※素地調整(1種)は、除せいでSa2 1/2相当とする

塗替塗装数量表

種 別	細 別	計 算 式	単 位	数 量	備 考
塗替塗装	Rc-I 塗装系	数量計算書参照	m ²	240	

1式当たり

注記

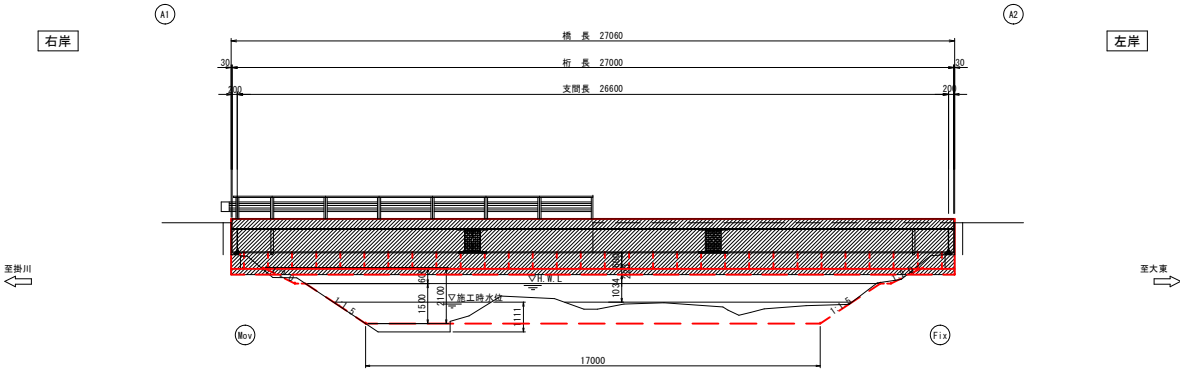
1) 本図は、復元した橋梁一般図より塗装面積を算出した
ものである。

2) 塗装面積は、施工数量に応じて変更すること。
【大意欄】

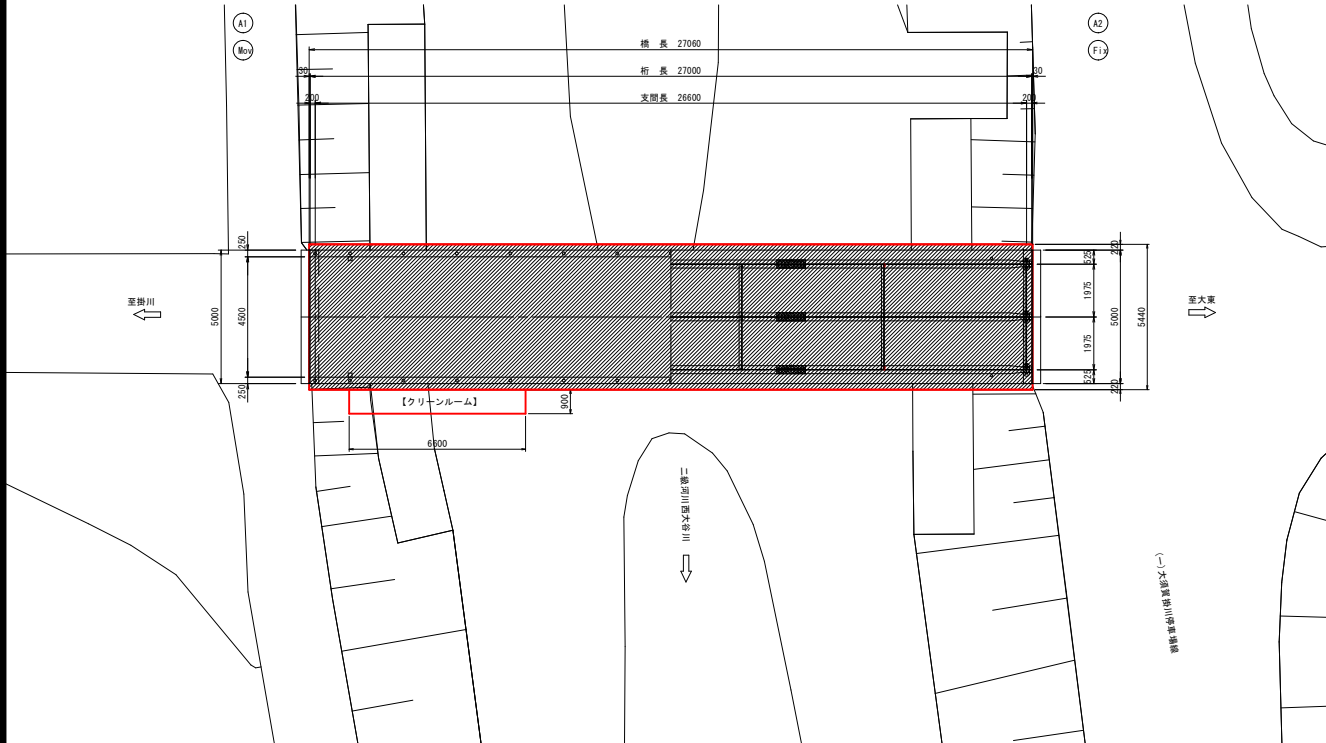
工 事 名	令和7年度 道路橋梁維持事業 大倉橋橋梁補修工事
工 事 箇 所	掛川市 中 地内
図面の種類	塗替塗装構造図
縮 尺	図 示 ()内はA3版
図面番号	4 葉 中 3
測量年月日	設計年月日
事務所名	掛川市役所

施工要領図

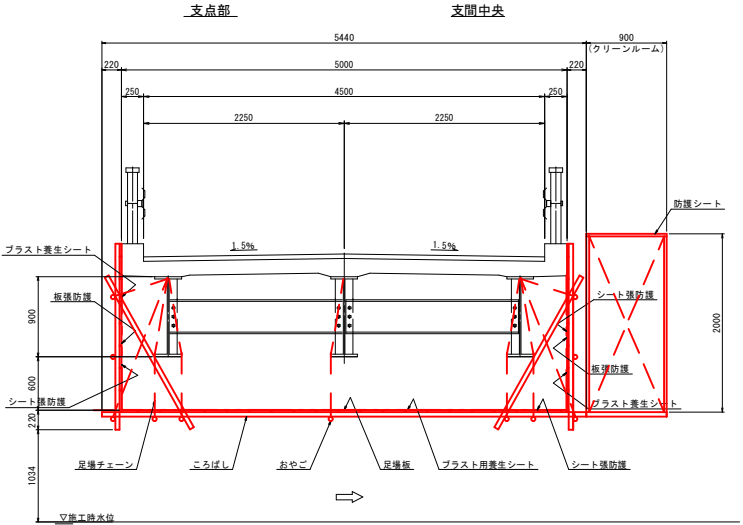
側面図 S=1:100 (1:200)



平面図 S=1:100 (1:200)



上部工断面図 S=1:30 (1:60)



※単管足場の張出長(220mm)は参考値である。

足場数量表		1式当たり			
種別	編別	計 算 式	単位	数 量	備 考
足場工	吊り足場 947 A3	$27.06 \times 5.00 = 135.3m^2$	m ²	135.3	
足場防護工	947 B	$27.06 \times 5.44 = 147.21m^2$	m ²	147.21	
足場防護工	947 B	$6.6 \times 0.9 = 5.94m^2$	m ²	5.94	

※足場工数量は、橋長×全幅員とする。

注記
1) 本図は、参考図であり仮設工法を指定するものではない。
2) 仮設平面は、掛川市道路台帳によるものである。
3) クリーナールームの設置位置及び形状は参考である。

工 事 名		令和7年度 道路橋梁維持事業 大倉橋橋梁補修工事	
工 事 箇 所		掛川市 中 地内	
図面の種類		施工要領図	
縮 尺	図 示 ()内はA3版	図面番号	4 葉 中 4
測量年月日:		設計年月日:	
事 務 所 名		掛川市役所	